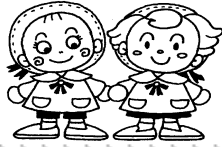


ひがしなえぼ

修了式号
NO. 13



7. 3. 17 発行

札幌市立ひがしなえぼ幼稚園
園 だ よ り

修了おめでとうございます

園長 菅原 由美

くるみ組の保護者の皆様、お子様の修了おめでとうございます。

くるみ組の子どもたちは、3 月に入ってから毎日、幼稚園であと何回遊べるか数えながら過ごしていました。残りの日を数えることで、寂しさが増してしまわないか心配になりましたが、子ども同士で「あ～、あと〇回しか遊べないよ～!」と残念そうではありますが、表情は明るいのです。「〇回しか遊べない」は、つまり「あと〇回は遊べる」ということだから、その回数(日数)は、「とことん遊び切ってやるぞ!」という前向きで意欲的な気持ちの表れなのではないかと思いました。なんて素敵な子どもたちでしょう。担任は、子どもたちのその気持ちや幼稚園、友達への愛をしっかりと受け止めて、できるだけしたいことが実現できるように、最後まで細やかに保育を組み立て、一緒に遊び、子どもたちの笑顔にあふれた時間を生み出してくれました。11 人の子どもたちと先生たちが遊ぶ様子は、まるで家族のように見えました。

今日は、保護者の皆様にとってもお子様との園生活最後の日です。閉園することが決まっている中で始まった園生活ですが、人数や学級が少なくても、「みんなが思い切り遊べる幼稚園にしたい!」「寂しい思いはさせない!」と、教職員一同でわくわくする保育にチャレンジしてきました。保護者の皆様には、存分に遊ぶために必要な持ち物や着替え、遊び込んだ末に汚れてしまった衣類の洗濯など、多くのことに御協力いただきありがとうございました。昨年度は開園 40 周年、今年度は閉園にまつわる要素を織り込んだ保育や行事に込めた願いを汲み取っていただき、園の教育活動を支えていただきました。PTA 活動では、子どもたちの興味・関心を惹きつける企画を考え、親子で一緒に楽しめる思い出深い時間を生み出していました。本当にお疲れ様でした。心より感謝いたします。

修了式は、お子さんの成長を喜ぶだけではなく、保護者御自身が「頑張り続けてきた自分」にも拍手を送り、一緒に子育てを支え合ってきた御家族、保護者同士が労い合う式でもあります。職員一同、保護者の皆様に心からの拍手をお送りいたします。

併せて、ひがしなえぼ幼稚園の 41 年間の歩みの締めくくりを、地域の皆様、関係者の皆様と一緒に見届けていただきましたことに心より感謝いたします。ここで過ごした楽しい記憶がお子さんや御家族の皆様の心に刻まれ、一人一人の未来へとつながる道を明るく照らすものとなりますよう、職員一同お祈りしております。これからも、どうぞお元気で…。

